

一級河川鳴瀬川水系 宮床川 宮床ダムの効果(令和元年10月11日~13日)【速報】

宮城県

○宮床ダムでは、令和元年10月12日から13日にかけて、台風19号に伴う大雨により、**流域平均の累計雨量が294mm、最大時間雨量では39mmを記録しました。**これによるダムへの最大流入量は、計画290m³/sに対し、83.41m³/sを記録しました。

○今回の洪水調節により**最大流入時の99.8%(83.33m³/s)を貯留し**、下流河川の水位上昇を軽減しております。

ダムの位置図



ダムの状況写真



(令和元年10月13日7時)

宮床ダムの洪水調節実績

・洪水調節 開始	12日 20時 10分	終了	13日 5時 30分
・ダム流域累計雨量	294 mm	(11日 22時 ~ 13日 6時)	
・最大時間雨量	39 mm	(12日 21時 ~ 12日 22時)	
・ダムへの最大流入量	83.41 m ³ /s	(13日 0時 20分)	
	(2位/17洪水)		
・最大流入時の放流量	0.13 m ³ /s		
・ダムによる最大調節量	83.28 m ³ /s	(約 99.8%)	

宮床ダムによる調節量

最大流入時に、流入量の 99.8% をダムに貯留しました。

最大流入時の放流量
0.13 m³/s

最大流入量
83.41 m³/s

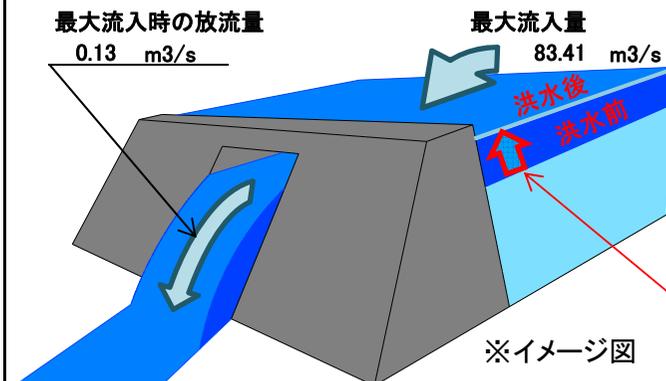
洪水調節開始時の貯水位
93.21 m

洪水調節時の最高貯水位
99.45 m

最大貯留量
1,629 千m³

(東京ドーム約1.3個分、25mプール約3394杯分)

6.24 m上昇



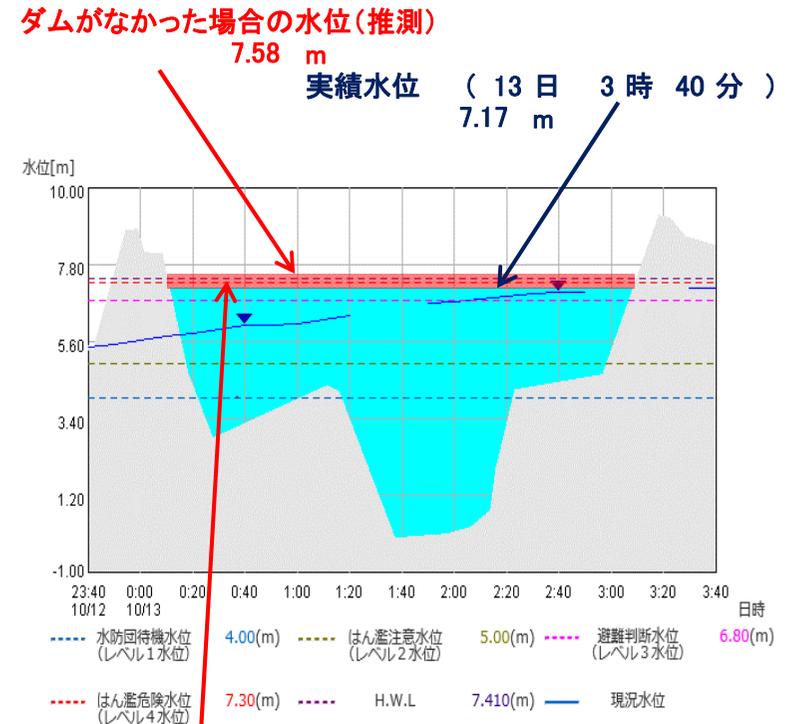
○宮床ダムの洪水調節により、吉田川の落合地点で、**水位約 0.41 m低減させる効果**があったものと推測されます。

下流河川の状況写真



一ノ関水位観測所 (10月13日 7:00) 水位:1.95m 流量:36.29m3/s

吉田川(落合地点)の水位低減効果



ダムにより約0.41mの
水位低減効果を推測